

科目名		授業形態	担当教員名	
生物学		講義	沖田 章子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（2 単位）		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
幅広い生物学の中で、医療系の学生として学ばなければならない大きな2つの柱「生物の原理」と「ヒトに関する基本」を修得し、専門課程を理解できる力をつけることを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 細胞の構造と機能を説明できる。 2. 遺伝子とは何かを説明できる。 3. 発生のしくみを説明できる。 4. ホメオスタシスのための神経系、内分泌系の役割を説明できる。 5. からだを守る免疫系について説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	ガイダンス 学習の進め方 生物とは何か			
2	生命の単位（1） 細胞			
3	生命の単位（2） 生体の成分 <レポート① 細胞 >			
4	生命を維持する働き（1） 酵素			
5	生命を維持する働き（2） 代謝 <レポート② 代謝 >			
6	生命の連続性（1） 遺伝の法則			
7	生命の連続性（2） 遺伝子の発現 <レポート③ 遺伝 >			
8	生命の連続性（3） 発生			
9	生命の連続性（4） 発生 <レポート④ 発生>			
10	生命を守る働き（1） 恒常性(神経系)			
11	生命を守る働き（2） 恒常性（内分泌系） <レポート⑤ 恒常性 >			
12	生命を守る働き（3） 免疫			
13	ワークショップ 細胞・免疫 グループ学習			
14	ワークショップ 細胞・免疫 発表			
15	まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	70%	生物の基礎となる仕組みを理解できているかを評価する。		
レポート	20%	単元ごとに、大切な語句や現象を理解できているかを評価する。		
小テスト				
平常点				
その他	10%	免疫についてグループ学習を行う。発表で、理解した仕組みを伝えられたかを評価する。		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
<基礎固め>生物	松村瑛子 安田正秀		化学同人	
視覚でとらえるフォトサイエンス 生物図録	鈴木孝二 監修		数研出版	
自由記載	講義資料、図録に沿ったプリントを配布する。			
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				
教科書、図録を用いて予習をして、生物用語の確認をすること、日常生活で医療や化学の話題に関心を持つことを希望する。				